



### 教育長コラム

### 教育長 コラム③



これからの社会は、答えのない世界・予測困難な社会と言われています。先行き不透明な時代を生き抜いていく子供たちは、それぞれが持つ可能性を最大限に発揮し、自分たちの社会を自ら創っていくために、身につけることが必要です。そこで、これからの小田原の目指す子ども像を「未来を創るたくましい子ども」と掲げました。そして、「自ら考え表現する力」「命を大切にできる心」「健やかな心と体」「ふたつへの愛」「夢への挑戦」という五つの側面を重視し、その成長が図られるように教育環境を整えていきます。



### 教育委員会の活動

## オクラホマ州ノーマン市教育関係者来訪

米国オクラホマ州ノーマン市の教育関係者4名が小田原市を来訪しました。7月9日(月)に市長への表敬訪問を行い、10日(火)と11日(水)には市内の小中学校を訪問しました。下府中小学校では5年生の外国語の授業、片浦小学校では1年生の国際交流の授業に参加し、泉中学校では吹奏楽部のマーチング、橘中学校では合唱の披露もあり、日本の教育現場を学ぶよい機会となったことと思います。また、授業や給食で交流した児童生徒にとっても、国際理解の楽しさを知るきっかけとなりました。来訪者から「このような学校で働きたい。」という感想が聞かれました。



平成6年の小田原市教員海外研修視察事業において、(株)日立製作所の協力のもと、ノーマン市に4名の教員を派遣し、ノーマン市からも教育関係者が小田原市を来訪したことから始まり、交流を続けてきました。これまで、本市から57名の教員が派遣され、ノーマン市からも60名を超える教育関係者が来訪されてきていました。今年で24年目を迎えましたが、残念ながら今年度で事業は終了となりました。



@森谷 葉菜



西湘地区教育委員会連合会は西湘地区の2市8町の教育委員会等で構成されている会です。

総会では、平成29年度の事業報告・決算及び平成30年度の事業計画・予算などについて議決されました。

また、「学校施設の統合・廃合」について子供たちが生き生きと学ぶためには、「をテーマに、文教大学 葉養 正明 教授に講演いただき、2市8町の教育委員のほか事務局や施設管理を担当する職員を合わせ、計55名が受講しました。

**西湘地区  
教育委員会連合会  
総会が開催されました!**

## 学校の取組



### 報徳小学校

本校の特色の1つに「すくすく畑」があります。地域の方から畑をお借りして、全校児童が栽培活動を行っています。大勢のスクボラの皆さんに御協力いただき、種まきや苗の植え付け補助、草取りから収穫など多岐に渡って、年間を通して活動しています。

また、収穫した野菜を使って学校で「手煮会」を開催し、地域の方やボランティアさんへの感謝の気持ちを表し、みんなで収穫を祝います。このような体験活動を通して、子どもたちは食育や環境学習を学ぶことができます。

### 城山中学校

本校1年生が、馬出門・銅門・常盤木門と天守閣に分かれて、小田原城の観光案内に挑戦します。

総合学習では、NPO法人小田原ガイド協会の指導を受けながら、小田原城の史跡を学び、プレゼン力や表現力を磨いています。7月6日にはガイド協会の方の協力を得て、本番に向けた案内原稿を作成し、9日には、城内でヘアづくり、ガイドの練習に臨みました。

9月の本番がとても楽しみです。

《実施日》9月5日(水)

開会式 午後1時40分、馬出門広場

ガイド実施 午後1時55分

閉会式 午後3時25分 馬出門広場



7/10

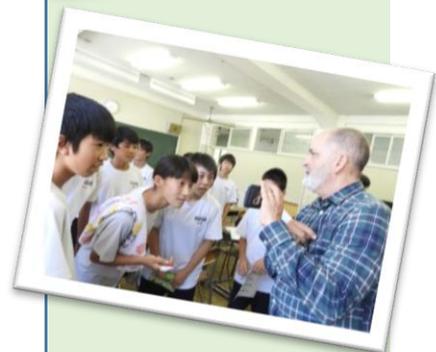
### 泉中学校

米国オクラホマ州ノーマン市の学校関係者が本校を訪れました。(一面参照)

本校自慢の吹奏楽部による演奏とお出迎えをし、生徒会長で指揮者も務める生徒の英語による歓迎の言葉と曲紹介を行いました。

授業参観では、マット運動での集団演技(保健体育科)やクラフス合唱の練習(音楽科)、特別支援級での個別授業などの様子を見ていただきました。中でも少人数クラスによる英語の授業では、生徒たちとオクラホマ州のことも好きなスポーツの話などコミュニケーションを深める場面もみられ、心温まる時間となりました。

また、概要説明の場面では、石井校長からわかりやすい英語で、泉中学校50年の歴史やこれまで支えていただいた、地域・保護者・教職員のご功績について熱く話しました。最後はノーマン市と小田原市の学校や先生方の児童・生徒に対する思いや働き方の実情について意見交換を行い、これからの教育のあり方を考えていくためにも有意義な場となりました。



## 教育委員のひとこと

教育委員

吉田 眞理



教育委員会では、毎年点検・評価を行っています。教育は良かれと思って実施すればいいわけではなく、その成果がどうであったかを常に確認する必要があります。小田原市の教育がどのような状況で、どのようなことがどのようにできていくのか、改善すべき点は何かなどが点検・評価から見えてきます。教育に関することは具体的な指標が難しいですが、より良い方向を見いだせばと思います。

@佐藤 綾

